盛岡第四高等学校　学校報

シルバーリーフの風

Ｎｏ．１０
令和４年１月７日発行
岩手県立盛岡第四高等学校
担当　副校長　川﨑　広幸
ホームページにも掲載しています

文芸部　一ツ橋文芸教育振興会賞受賞

～全国高等学校文芸コンクール　文芸部誌部門～

第 36 回全国高等学校文芸コンクールにおいて、本校文芸部の文芸部誌『志高文芸　第五十五号』が、第2位にあたる優秀賞・一ツ橋文芸教育振興会賞を受賞しました。県内のコンクールで2位でしたが、全国での評価が高く、157点が出品された中での第2位となりました。また、小説部門では、川村ひかりさんの「ハウツー」も、優秀賞に選ばれました。

全国文芸コンクールの結果は以下のとおりです。また新部長の感想です。

部門	成績	氏名	作品名	応募数
文芸部誌	優秀賞　一ツ橋文芸教育振興会賞	盛岡四高文芸部	志高文芸　第五十五号	157
小説	優秀賞	川村　ひかり	ハウツー	1038
小説	優良賞	岡　樹	春夏の虹彩	1038

佐藤ひなたさん

今回は、文芸部誌が優秀賞、一ツ橋文芸教育振興会賞というすばらしい賞をいただけて、とてもうれしく思います。今回の部誌は、「結ぶ」をテーマに作製しました。中堅の2年生がいない中での活動は、真夏の地獄の添削をはじめとする部誌制作に大きな影響を与えました。それでもこのような結果を残せたのは、3年生の努力や1年生の大きな成長、また、白澤先生をはじめとする多くの方のご指導、応援のおかげだと思います。来年は、3年生がおらず不安な部分も多々あります。それでも、溢れすぎる個性を持った現1年生と新入部員で、私たちにしか創れない部誌にできるよう、「つくりたい作品をつくる」ということを大切に、作品づくりに勤しみたいと思います。

探究学習進める　～1，2年生～

【2年生】 11 月 25 日（木）の7校時、2年生の総合的な探究の時間で、今年度取り組んでいる「課題研究」の中間発表会を実施しました。この取り組みは、それぞれの生徒が、自分の興味ある分野を調べ、問題点や課題を把握し、解決策や改善点を考えるというものです。クラスに関係なく、6人のグループを作り、お互いの発表を聞き、問題点や感想を話し合いました。

「アンケートを取ることについてのアンケート（矢巾町役場の協力のもとアンケート調査の問題点を考える）」、「おもてなしについて」、「甲子園がもたらす経済効果と意味」、「フードロスに関する意識調査」、「長時間労働について」、「ボーカロイドから学ぶ～日本の文化を衰退させないために～」などなど、それぞれの課題に取り組んでいます。今後、文献等を通じて更に考察を深められるかが課題です。尚、1月末に、最終発表会を実施する予定です。

【1年生】 12 月9日(木)の6,7校時、1年生は総合的な探究の時間で、新聞レポートの発表会を行いました。これまでの、岩手日報社の記者の方々からの指導や東日本大震災の被災者の皆さんへのインタビュー等を踏まえ、3人一班となり新聞作成に取り組んできました。この時間では、自分のクラス以外の班と交わり、その成果を発表し合いました。語り部の話を聞いて感じたこと、新聞のタイトルや記事にこめた想い、今後の復興や地域課題の3点について、伝え合いました。

野球部100キロウォーク清掃

11 月 20(土)、21 日(日)の2日間、野球部 1,2 年 26 名は、一関市の釣山から本校までの国道4号線沿い 100 キロを、ゴミを拾いながら踏破しました。この行事は、今年度で 18 回目。当日は天気にも恵まれ、踏破した後は、最高の達成感でした。

高橋勇慎さん

今年も開催できたことを嬉しく思います。たくさんの方々の手助けにより、部員 26 名全員が、無事完歩することができました。

歩いている途中、何度も心が折れそうになりましたが、沿道で励ましの声を掛けてくれた方々や、お互いに声を掛け合って頑張った仲間の姿があったからこそ、最後までやり遂げることができました。また、部員同士でたくさんの会話をして、これまで以上にお互いを知ることができました。この貴重な経験をしたからこそ、冬季トレーニングも全員でやり遂げることができると思います。

大森望生さん（マネージャー）

私は 100 キロ全てを歩いてはいませんが、途中のポイントで飲み物等を出すときなどに選手同士の会話や表情を見ると、想像以上のキツさを感じました。それでも仲間で励まし合ったり、普段とは違った表情や関係性も見えたりして、私自身も選手との距離を縮められたと思います。もともと 100 キロウォークを始めた意図や目的を、全員で確認したこともあり、自分やチームを見つめられた良い時間になりました。

鳥谷部佑聖さん

100 キロを歩く中で、たくさんのコミュニケーションを取り、チームメイトとの絆を深めることができました。また、歩いているなかできつい時がありましたが、地域の方々が声をかけて下さり、チームメイト同士でも声をかけ合い、何とか全員で完歩することができました。今回の 100 キロウォークを通して、たくさんの方々に支えられていることを改めて実感しました。

コラム:馬鹿は休み休み言え③

令和4年は寅(虎)年。虎にまつわることわざや成句がいろいろありますね。「虎の威を借(籍)る狐」「前門の虎　後門の狼」「虎に翼」「虎の尾を踏む」「張り子の虎」等々。その中でも皆さんもよく知っているものは、「虎穴に入らずんば虎児を得ず」でしょう。その意味は、「危険なことを敢えてしなければ、成功は得られない」こと。生徒の皆さんには、危険を冒せということではありませんが、難困難なことに果敢に挑戦し、自らを成長させる１年にしてほしいものです。

英語では、*Nothing ventured, nothing gained.*

高校2年生のとき、毎週英語のことわざを暗唱させられました。いやいや勉強していましたが、こんなところで役立つとは！　（濁水）